

法律論叢第 77 卷 4・5 合併号

(菊田幸一教授古稀記念論文集)

2005 年度 2 月 14 日刊行

掲 載 内 容 【論 説】	(頁数)
少年審判事件における被害者等からの意見聴取のあり方	上 野 正 雄 (1)
昭和四〇年代の少年非行 ——国民生活・国民意識の変化とともに——	大 住 猛 雄 (21)
ドイツにおける条件付親告罪の構造と問題点	黒 澤 睦 (59)
イタリアにおける労働政策の展開	小 西 康 之 (81)
共犯の諸問題	齊 藤 信 宰 (119)
アメリカ電気通信法におけるテレビ局の複数所有規制	佐々木 秀 智 (153)
少年に対する死刑 ——世界と我が国の現状	辻 本 衣 佐 (211)
被侵害者の意思と緊急救助	津 田 重 憲 (211)
英米における受刑者暴力の解消策に関する一考察	藤 本 哲 也 (235)
変貌する保護処分 ——いわゆる原則逆送と年少少年の刑事処分をめぐって——	藤 吉 和 史 (273)
自由意志はイリュージョンか ——刑事責任の自然的基礎としての心脳問題をめぐって——	増 田 豊 (297)
法秩序の統一性における矛盾について	港 和 夫 (323)
死刑の廃止と代替刑をめぐっての若干の考察	三 原 憲 三 (345)
刑事公判手続における証明の方式	山 田 道 郎 (375)
刑事司法過程における矯正のメカニズム試論 ——犯罪者の矯正とゆるしの構造——	山 本 聡 (399)
菊田幸一教授略歴および著作目録	(425)
菊田幸一教授のこと	上 野 正 雄 (487)